

広島県知事の湯崎です。

7月に入り、感染者が増加しているなかで、県民の方より、県の対策についてこんな声が寄せられています。

県民の方のお声

- ・感染が拡大しているようだけど、県は何か対策しているの？G○T○キャンペーンとかやって大丈夫？
- ・自分もいつ感染するか不安です
- ・検査を増やすと繰り返しているけど具体的にはどういう人達が検査を受けられるようになったの？

一つの具体例を挙げますね。

まず、発症したばかりの初期はコロナウイルスか風邪なのか区別がつきづらいものです。

医師も、その区別がつきづらいため様子見ましようとなっています。

皆さまも、のどの痛みや微熱ぐらいではこれまでは病院には行かないことも多かったと思います。

しかし、今はその間に感染が広がってしまうケースがあります。

県としては、このようなことがないように、医師に対しては、風邪症状がある場合は、すぐに検査に回すようお願いをしています。

今後は身近な医院などでも唾液による検査ができるようになります。

受診した医院で唾液検査ができない場合には、医師がすぐに検査窓口へつなぎます。

こうして検査体制を整え検査数を増やすことで感染者を早く把握して積極的に感染の広がりを抑え込み感染する方を一人でも減らすようにします。

ですから、みなさんも、風邪症状が出たら様子を見ずにかかりつけ医にすぐ相談してください。

今後、外出自粛などの行動制限を行わないためにも、感染が爆発的に拡大しないよう抑えていかなければなりません。

県もしっかり対策をしていますので県民の皆様も感染拡大防止にご協力をお願いします。

そのほか、新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店により、県民の皆様安心してお店を利用していただけの制度を推し進め、お店の対応状況の現地確認も行います。

さらに今後は、QRコード登録により、お店で陽性者が確認された時に速やかに連絡できるよう運用してまいります。

それでも感染者が追えない場合は店舗名の公表を行っていきます。

## 県民の声

- ・宣言店は本当に安全なんですか？

というお声も寄せられています。

対策取組宣言店は、お店ごとに実施している対策を見える化しています。

こういった、積極的に感染予防を行っているお店を利用してほしいと思います。

ただし、お店だけでなく皆さんも気を付けていただきたいことがあります。

飲食をする場合は、マスクを外しますし、お酒を飲む場合は、その場も盛り上がり、大きな声を出すことも多くなります。

お気持ちは分かりますが今は大きな声は出さないようにして、話すときも口に手を当てるなど料理に飛沫が飛ばないようにしてください。

もちろんその手はこまめに洗ってください。

そしてお店の利用記録がわかるQRコード登録は万が一に備えてご活用ください。

また、県では入院ベッド数や療養施設の確保ができています。

医療体制もしっかりと強化していますので万が一感染された場合でも適切に対応してまいります。

今後も感染状況を注視しながら迅速に必要な対応をしっかりと取ってまいります。